

# 新型コロナウイルス感染症の レジストリ研究の現状と今後の方向性 医療情報の収集と活用による対策について

2022年5月28日(土) 13:30~16:35

オンライン開催



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、様々な医学的・社会的な課題を引き起こしております。これらの課題に適切に対応するには、医療機関を受診された患者さんの情報を収集して解析したレジストリの結果に基づくことが重要です。本学術フォーラムでは、レジストリとは何か、収集された医学情報管理はどの様になっているかに触れながら、我が国で進められている、COVID-19に関するレジストリの状況や成果、課題と今後の方向性を含めて分かりやすくお話いただき、皆様と広く共有したいと考えております。

[コーディネーター]

日本医学会連合：名越澄子(理事)、磯 博康(副会長) 日本学術会議：尾崎紀夫(第二部幹事)

主催：日本学術会議、日本医学会連合

後援：日本生命科学アカデミー

参加フォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0114.html>



司会：名越澄子(日本学術会議第二部会員兼日本医学会連合理事)  
磯 博康(日本学術会議第二部会員兼日本医学会連合副会長)  
挨拶：梶田隆章(日本学術会議会長) 門田守人(日本医学会連合会長)

## 「疾患レジストリとは、その意義と倫理的側面」

玉腰暎子(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院医学研究院教授)

## 「COVID-19レジストリの立ち上げ・運用・利活用の経験」

大曲貴夫(国立国際医療研究センター国際感染症センター長・感染症内科医長)

## 「妊婦COVID-19レジストリ」

山田秀人(手稲漢仁会病院不育症センター長)

## 「COVID-19後遺症(Long-COVID)にみられる神経症候」

高尾昌樹(国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部部長)

## 「COVID-19に関わるメンタルヘルス不調レジストリ」

中込和幸(国立精神・神経医療研究センター理事長)

## 「コメント(法的な立場から)」

磯部 哲(慶應義塾大学法科大学院教授)

閉会の挨拶：武田洋幸(日本学術会議第二部部長)

